

アドミッションポリシー〈入学者の受け入れ方針〉 両学科共通

『「人を愛し、まごころをもって接する」の精神に基づき、常に「目配り」「気配り」「心配り」のある、こころ豊かな人間性と確かな専門性を培い、社会に貢献できる良識ある職業人を育成する』という本校の教育理念を理解し、教職員と学生、学生相互の信頼関係を築き、互いの人格を尊重でき、以下のような意欲、能力、適性を持った学生を受け入れることを基本方針とします。

- 人の役に立つ仕事に就きたい人
- 人と接することが好きな人
- 相手を思いやることができる人
- 周りの人と協力することができる人
- 何事にもまじめに取り組める人
- 自己管理ができる人

ディプロマポリシー〈学位授与の方針〉

以下の能力及び態度を身につけ、かつ、所定の単位を修得した学生に卒業を認定し、専門士と称することを認めます。

介護福祉学科

- (1) 利用者の価値観を理解した自立支援、人権尊重の視点を持ち、介護に関連する専門的知識と技術とともに、介護の現場で必要とされる実践的能力を身につけている。
- (2) グローバルな視点で、地域や利用者、家族、施設職員及び関連施設職員等と連携したチームアプローチの必要性を理解し、実践できる能力を身につけている。
- (3) 利用者の声にならない声を聴き、目には見えない思いを大切に、QOLの向上を目指し、個別ケアの実践及び的確な記録ができる能力を身につけている。

保育こども学科

- (1) 保育者として使命感を持ち、保育の専門家としての知識と技術を身につけている。
- (2) 保育現場で即戦力としての技能、表現及びコミュニケーション能力を身につけている。
- (3) 理論と実践の一体化を図り、子どもの成長を支える実践的能力を身につけている。
- (4) 子どもを取り巻く環境に目を向け、学び続ける自己教育力を身につけている。
- (5) 社会生活に必要なコミュニケーション能力や思考力・判断力を身につけている。

カリキュラムポリシー〈教育課程の方針〉 両学科共通

教育理念に基づき、介護福祉士及び保育士を養成するため、以下のような方針に基づいてカリキュラム(教育課程)を編成します。

- (1) 健全な社会人として豊かな教養と人間性、バランスの取れた人権意識と責任感を修得させる。
- (2) 高等学校教育からの連続性の上に、国際的な視野や異文化理解能力、コミュニケーション能力を修得させる。
- (3) 介護や保育に関連する幅広い科目を設定し、体験学習や実践など、積極的な活動を通じて専門的知識を深化させる。
- (4) 社会の変化に主体的、積極的に対応できる能力を獲得させるため、教員との信頼関係を軸に、自学自習の態度を修得させる。
- (5) 危機・安全管理体制や防災体制について学ぶ機会を持ち、自他の命を尊重し、守り合える心とスキルを修得させる。
- (6) 学校に関する情報を、ホームページ、学校案内及び行事案内等の機会を通じて積極的に発信し、理解を深めるとともに、常に改善を心掛け、質の高い教育を目指す。